

令和7年度 令和の学びプロジェクト

1. プロジェクトテーマ

安心感の中で育む “つながる力”^{りょく}

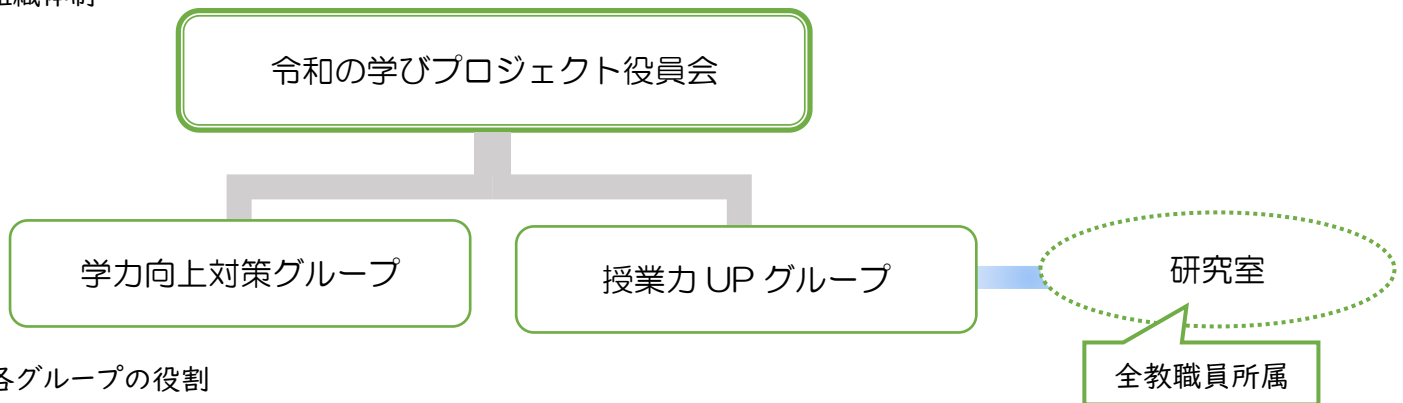
2. プロジェクトテーマ設定の理由

今年度もさらなる安心感の確保にむけ、非認知能力の向上もねらう取組を進めていきたい。

そこで、学びのパスポートの質問紙における非認知能力の関する項目の中でも、特に安心感との関わりの深いと考えられる項目「他者と進んで関わろうとする態度」について研究を進める。

「他者と進んで関わろうとする態度」を本校独自の視点として“つながる力”と表現し、この“つながる力”が向上すれば、「学びに対する積極性」「チャレンジ精神」の項目の向上にもつながると考え、この項目に焦点を当てた取組を進める。

3. 組織体制



4. 各グループの役割

学力向上対策グループ

- (1)朝学習の提案 (いいね!タイム、読書)
- (2)学力テストの分析と対策の提案
- (3)ひるべんの提案と運営
- (4)「学びの手引き」の作成と提案・配布 (4月と10月を想定)
- (5)基礎学力向上に関する取組の提案、実践と検証

授業力 UP グループ

- (1)つつじスタンダードの提案
- (2)全体研の企画・運営、事前研・事後研
- (3)授業力 UP のための取組 (校内研修の企画、運営、非公式公開授業アナウンスなど)
- (4)研究室の世話人 (研究室をまとめる、教授同士の現状報告会と役員会での報告)

4. 「研究室」(若い先生の学びの場、ベテランの指導技術継承の場、つつじ小の研究の場)の開設

※プロジェクトテーマに迫るための具体的な手立てや授業を検討することを目的としたグループ

- ・数名の「教授」役がテーマを設定し、ベテラン、中堅メンバーとともに研究室で取組を進める。
- ・全体研修会を年3回実施し、授業を通して全員で学びあう。
- ・夏休みには中間報告会を、3学期には成果報告会を行う。
- ・教授が集まる定例会を行う。